

議員名	主な質問項目	掲載頁
片岡 章一	重点支援地方交付金／空き家対策／サンウェルぬまづの利活用	4
小泉 宣子	認知症施策の推進／難聴者への支援／ＲＳウイルスワクチン接種	4
堤 飛鳥	児童生徒の学校健康診断／スマートシティのさらなる推進	5
大川敬太郎	国立公園指定地域の現状と今後の対応	5
大草 満	学校健康診断情報の電子化／遊具等の安全管理と改修、設置	5
渡部一二実	自転車関連道交法施行内容の周知・啓発／名刺管理アプリ	5
高橋 達也	沼津市振興公社の在り方	6
佐野 博一	高齢者見守り連絡所／民生委員の人材確保・体制強化	6
山下富美子	香害／女性相談体制／子宮頸がんワクチン（ＨＰＶ）と副反応	6
川口 慶	南海トラフ巨大地震への備え	6
高橋 秀子	養育費に関する支援／平和都市宣言の周知	7
平野 謙	孤立死の防止	7

※議員名の下にＱＲを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P.7の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

市政について 問う！

第九回（六月）定例会では、十二人の議員が市政について質問しました。

一般質問



優しさを伝えるケア技法 「ユマニチュード」講座の開催は

問 認知症ケア技法である「ユマニチュード」について、①本市の認識は。②普及・啓発のため講座を開催する考えは。

答 福祉事務所長／①ユマニチュードは介護手法の一つで、介護者の心身の負担軽減にも効果が期待できるとの評価がある。介護現場でも様々な介護手法とともに、対象者の特性に応じて使い分けられているものと認識している。

市長／②今後、認知症の人のさらなる増加が見込まれる中、認知症の人やその家族が安心して暮らせる環境

づくりは大変重要である。そのため、ユマニチュードに関する講座の開催については、他都市での実施状況等を踏まえ、検討していく。

問 妊産婦及び高齢者に対するＲＳウイルスワクチン接種を公費負担とする考えは。

答 市民福祉部長／現在、国においてワクチンの安全性や有効性及び定期接種化に関する議論が進められている。引き続き国の動向を注視するとともに、近隣市町等の状況を踏まえ、公費負担の必要性を十分に調査研究していく。

小泉 宣子



物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金の活用状況は

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用状況及び効果と今後の考えは。

答 市長／本交付金を活用し、令和五年度には市内全世帯へ三千円の商品券配付を行い、令和七年度には小中学校給食費の増額分を公費負担するほか、二か月分の水道基本料金の減免を実施した。これらの取組により、物価高騰の影響を受ける市民や事業者の負担軽減、子育て世帯の支援に寄与していると認識している。

今後も国の推奨メニューや他自治体の事例を参考にしつつ、本市の実情

に即した効果的な取組を進めていく。

問 空き家対策における官民連携の推進に対する本市の考えは。

答 都市計画部長／空き家問題への対応には、自治会や民間団体との連携が重要な役割を担うと考えている。また、法改正に伴い、市がＮＰＯ法人等を空家等管理活用法人として指定し、所有者等への普及・啓発や相談対応において官民がより連携した活動を行うことが可能となったことから、今後このような制度を活用しながら、課題解決に向けた官民連携の協働体制の強化を図っていく。

片岡 章一

